

事業の今後のあり方等に関する県民等の意識について

県民等の琵琶湖森林づくり県民税や事業に対する認知度、森林づくりへの理解度や期待などを把握し、今後の県民税のあり方等について検討するためのアンケート調査を実施した。

1 県民アンケート

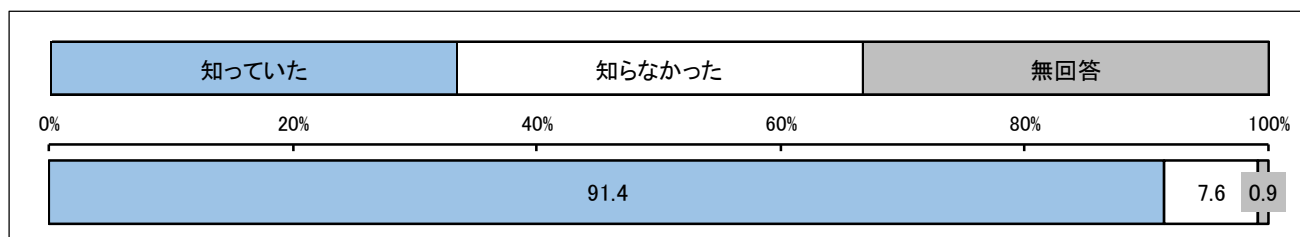
(1) 調査設計

調査地域	県内全域
調査対象	県内に住む満 18 歳以上の男女
標本規模	3,000 人
抽出方法	選挙人名簿から層化二段無作為抽出法で抽出
調査期間	令和元年 7 月～ 8 月
回答数	1,329 (回収率 44.6%)

(2) 結果概要

① 森林の多面的機能の認知

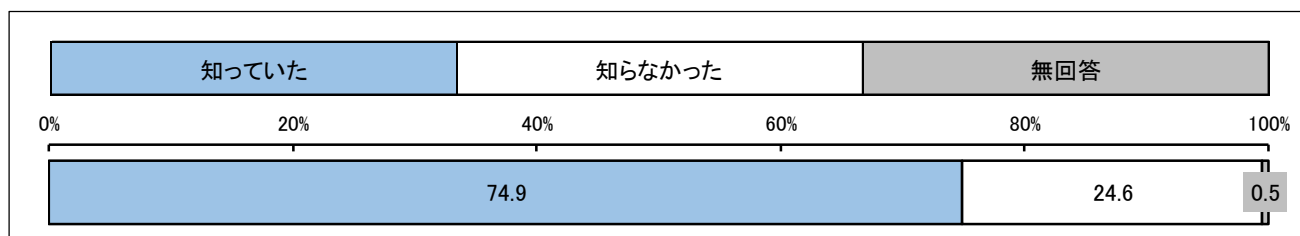
問 森林は、環境の保全や土砂災害の防止、水をたくわえたり、地球温暖化を防止するなどの様々な公益的機能により、私たちの暮らしを支えてくれています。あなたはこのことについて知っていましたか。



約 9 割が知っていたと回答。

② 森林の多面的機能低下に対する意識

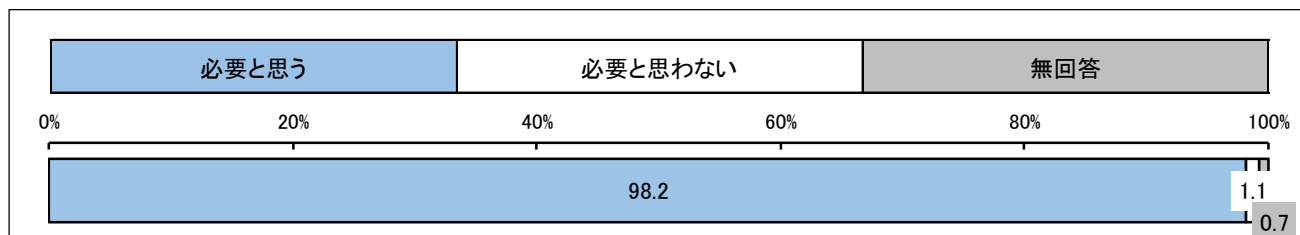
問 近年、林業生産活動の低迷等により、森林所有者による森林の手入れ不足などが原因で荒廃し、森林のもつ様々な公益的機能が低下することが心配されています。あなたはこのことについて知っていましたか。



約 7 割が認知。

③ 健全な森林の継承について

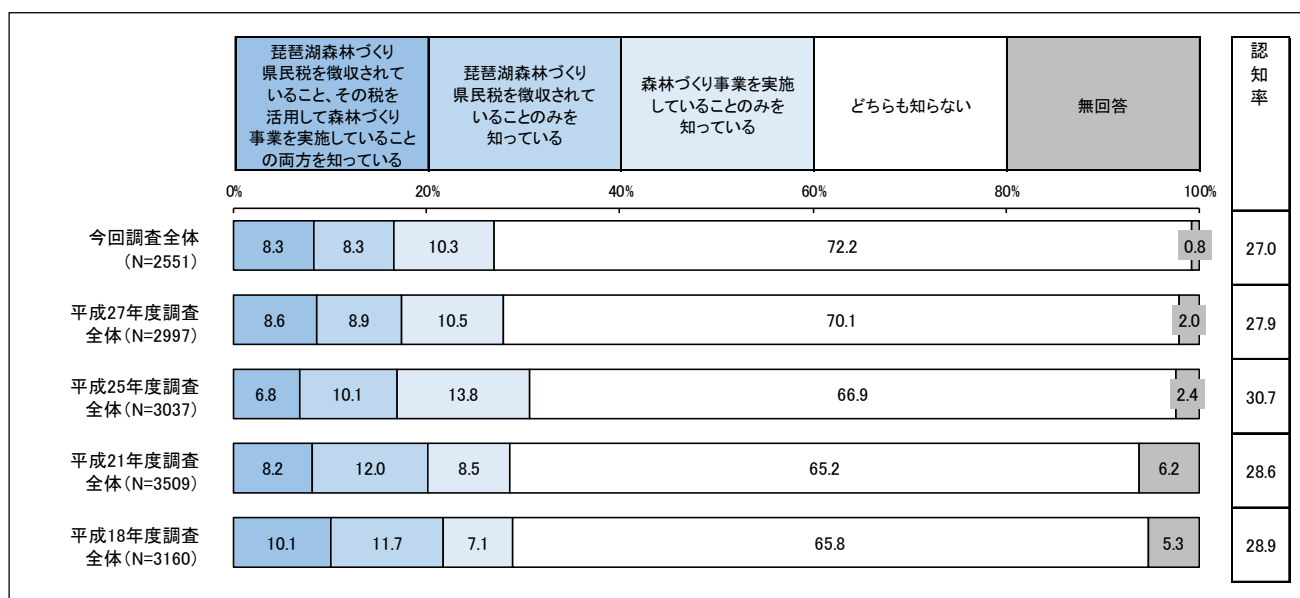
問 森林を健全な姿で未来へ引き継ぐことについて、必要と思いますか。



ほとんどの県民が必要性を認識

④ 琵琶湖森林づくり県民税の認知度

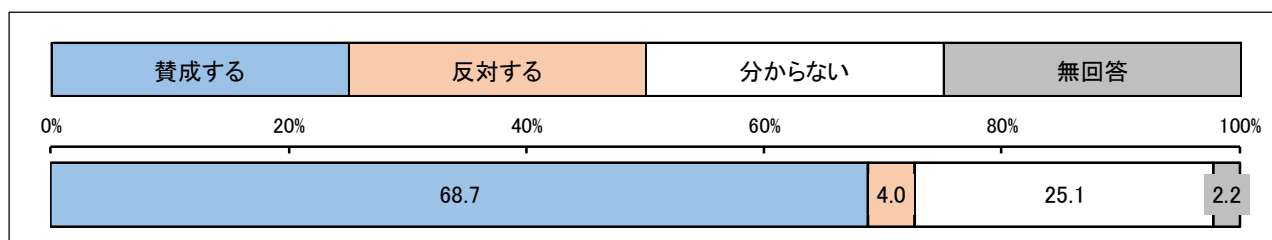
問 滋賀県では、平成18年度から、住民税に上乘せる形で県民の皆さまから「琵琶湖森林づくり県民税」をいただき、「環境重視」と「県民協働」の視点に立った森林づくり事業に取り組んでいます。このことについて、あなたは、どの程度ご存じですか。



認知率は 27%程度で推移

⑤ 琵琶湖森林づくり県民税の継続

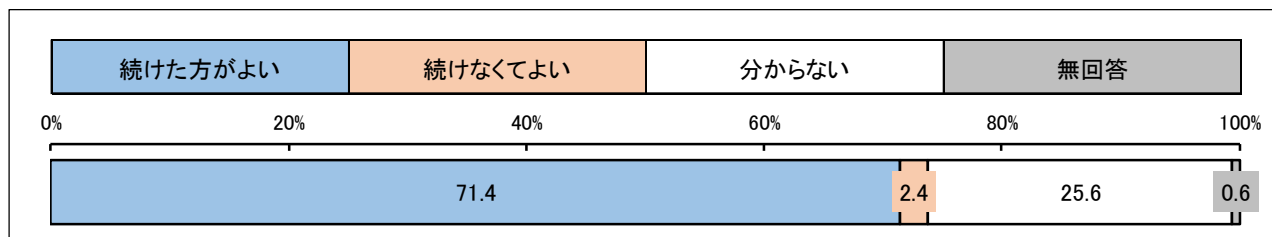
問 令和2年度（2020年度）以降も「琵琶湖森林づくり県民税」を継続して、琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりを行うことについて、どのように思いますか。



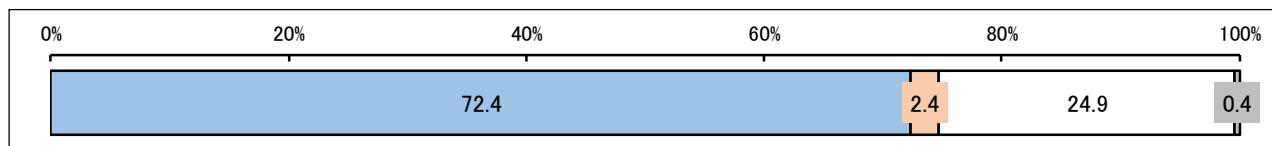
約7割が賛成と回答

⑥ 事業別の継続認識

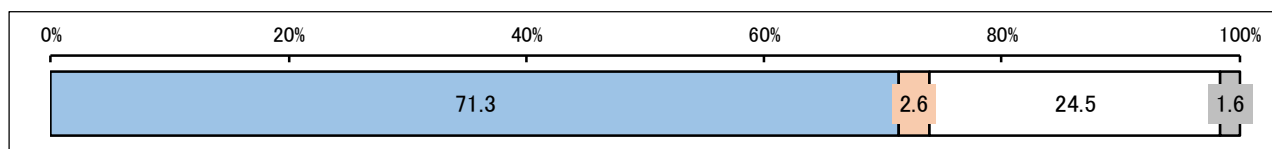
【人工林の整備】



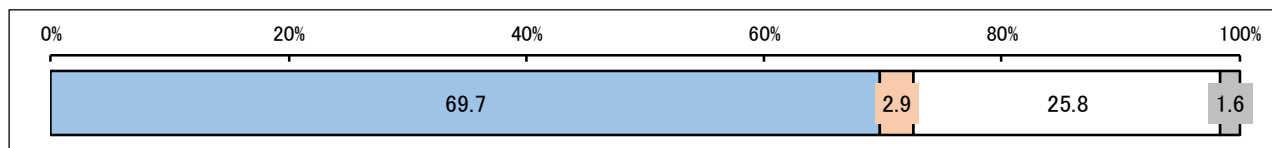
【里山の整備】



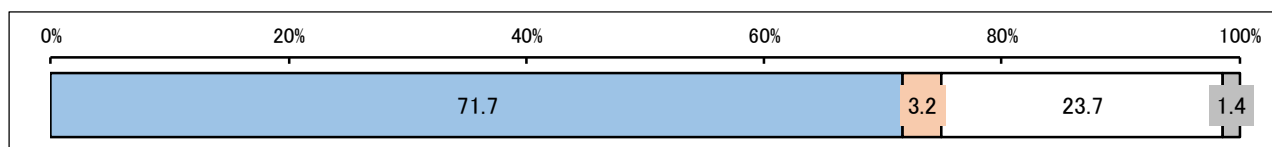
【間伐材の利用促進】



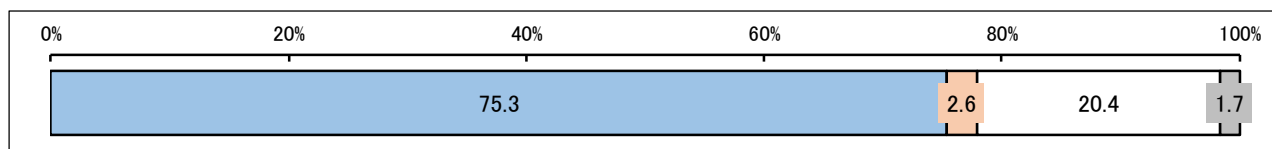
【県民の協働による森林づくり推進】



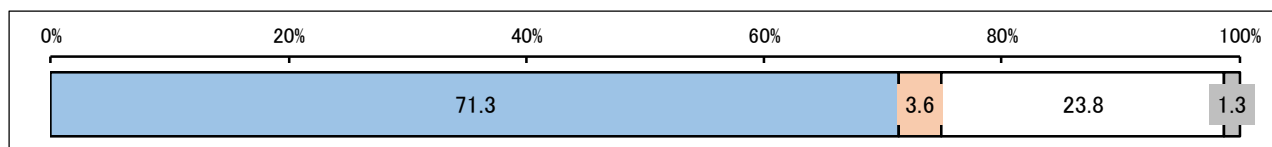
【県産材（びわ湖材）利用促進】



【森林環境学習「やまのこ」事業】

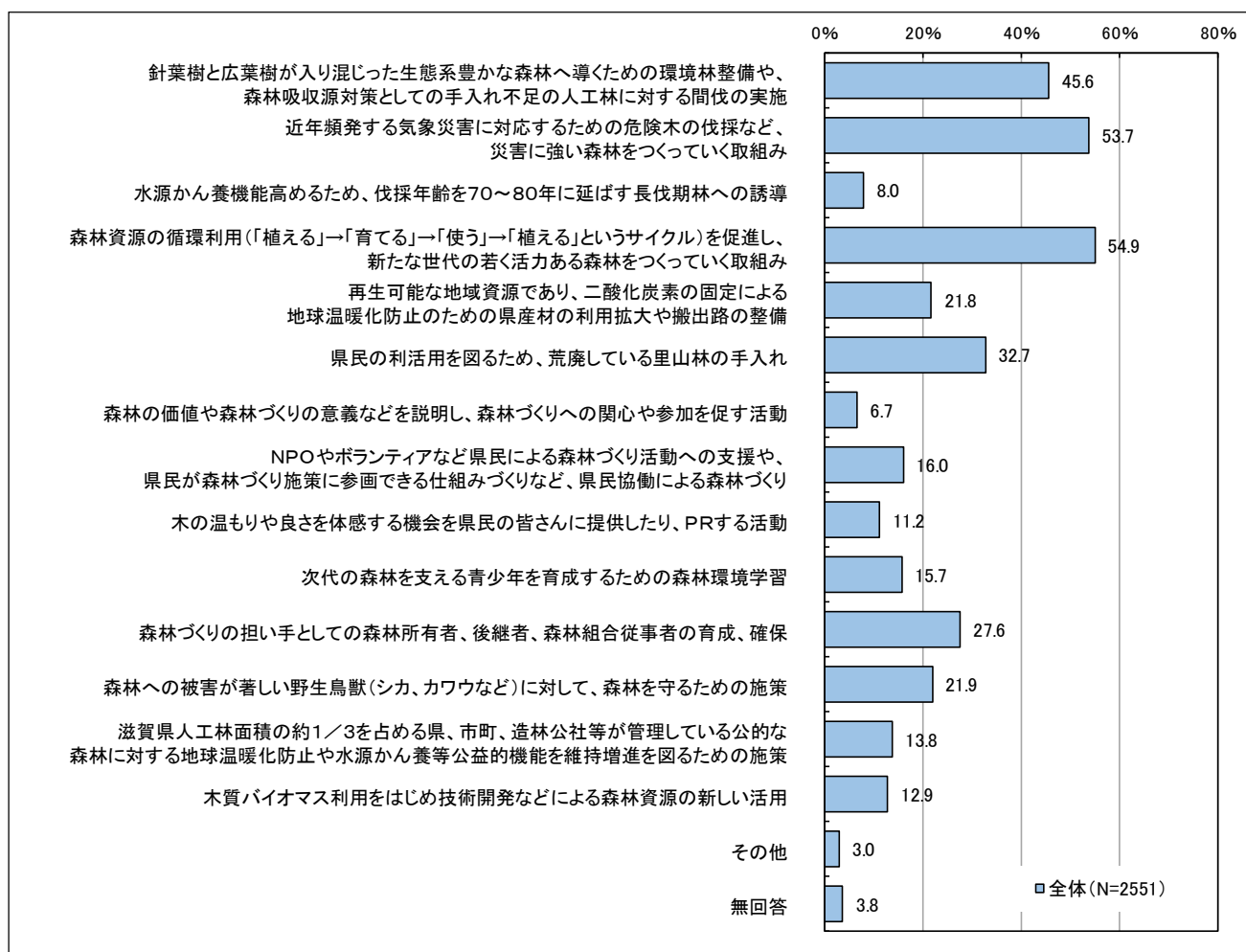


【森林動物対策（シカ捕獲等）】



⑦ 琵琶湖森林づくり県民税の使途について

問 琵琶湖森林づくり県民税の使い道として、特にどの様な森林づくりの分野に充てるのが望ましいとお考えですか。(〇は4つまで)



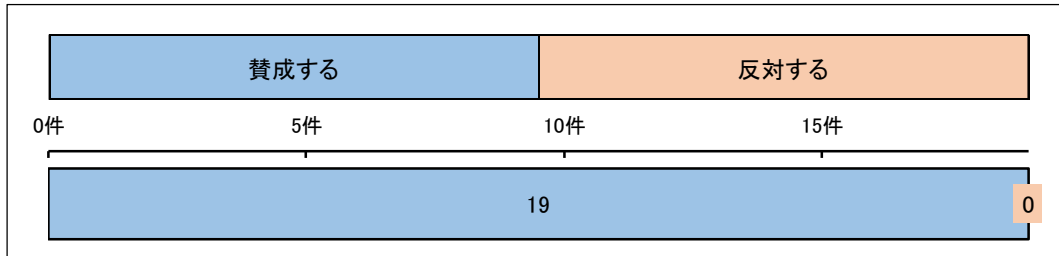
「森林資源の循環利用」、「災害に強い森林づくり」、「間伐の実施」、「里山の手入れ」、「担い手の確保」が高い結果となった。

2 市町アンケート

全 19 市町に対し、琵琶湖森林づくり県民税の実施の有無、有効性や継続についての意向をアンケートにより調査した。

(1) 結果概要

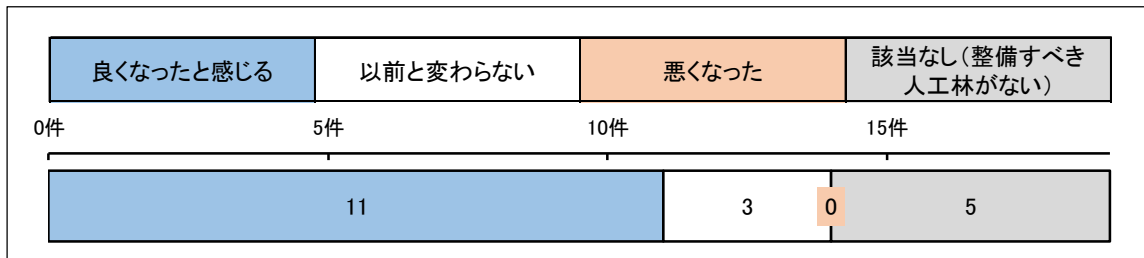
① 琵琶湖森林づくり県民税による取組の継続について



② 事業別の有効性認識

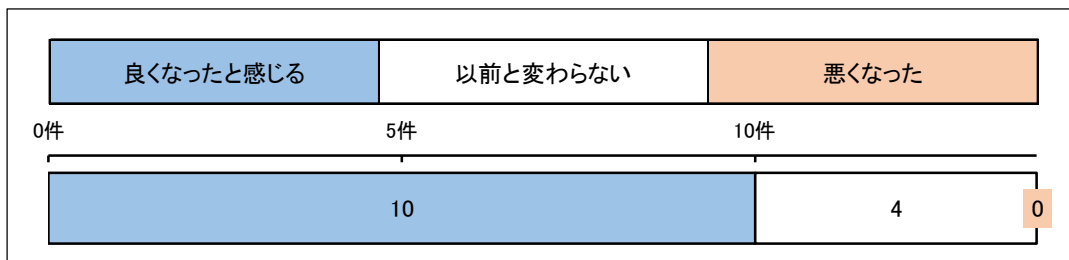
【人工林の整備】

問：貴市町の森林が良くなったと感じますか。



【里山の整備】

問：貴市町の森林が良くなったと感じますか。(事業実施市町のみ対象)



【県民の協働による森林づくり】

問：住民の皆様へ、森林づくりへの理解を促し、主体的に関わるきっかけとして有効と思いますか。

